

全国有力100社  
アンケート調査

# 「横ばい」が44%でトップ 「やや弱気」が38%で続く 中部では回答が分散

## 12月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「12月の相場動向」の結果がまとまった。全体(電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計)の結果は、「横ばい」が44%でトップとなった。2位は「やや弱気」で38%だった。「弱気」は5%で、「やや弱気」を合わせた弱基調の回答は43%と4割を超えた。「やや強気」は13%だった。なお「強気」は0%だった。

### ◆業種別～商社・シッパー、「やや弱気」が60%に

業種別集計では、電炉メーカーは「横ばい」が54%でトップ。以下「やや弱気」が38%、「やや強気」が8%と続いた。「強気」「弱気」は0%だった。

商社・シッパーは「やや弱気」が60%で最も多かった。以下、「横ばい」が27%、「弱気」が7%、「やや強気」が6%と続いた。「強気」は0%だった。

市中業者は「横ばい」が46%でトップだった。以下、「やや弱気」が33%、「やや強気」が16%、「弱気」が5%と続いた。「強気」は0%だった。

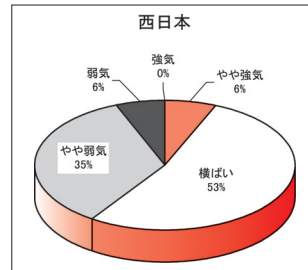
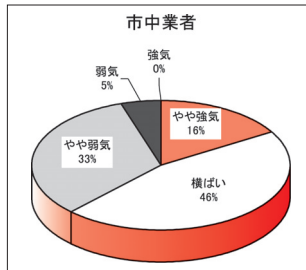
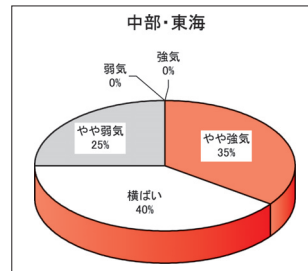
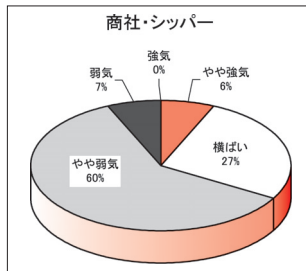
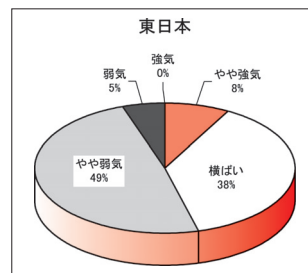
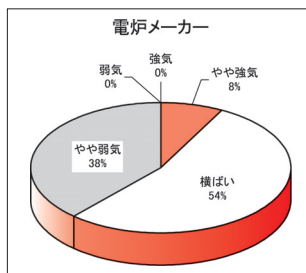
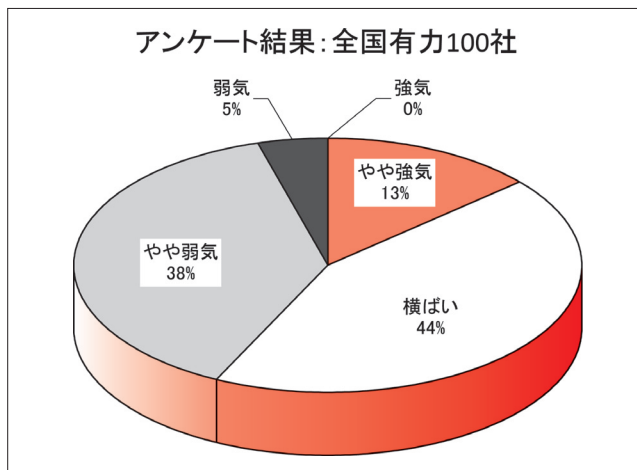
### ◆地域別～東日本では「やや弱気」がトップ

地域別に見ると、東日本は「やや弱気」が49%、「横ばい」が38%、「やや強気」が8%、「弱気」が5%と、弱基調の回答が他地域に比べて多かった。中部は「横ばい」の40%をトップに、「やや強気」が35%、「やや弱気」が25%と、回答が分散した。西日本は「横ばい」が53%でトップ。以下、「やや弱気」が35%、「弱気」と「やや強気」が6%で続いた。

### <個別コメント抜粋( )内は回答>

▼韓国は原料在庫が減少せず、また中国産の安価な製品・ビレットに押され、生産が減少しているため、日本屑の購入に積極的ではない。また、鉄鉱石のスポット価格も70ドルを割り、値上がりが見込めず、溶銹コストも下押しされて、スクラップ価格も多少値下がりすると思われる(やや弱気)。▼強含みの雰囲気は港のタイト感が作り出しているものであり、約残消化が進めば落ち着くと予想。新規輸出商談もあまり進んでいない(やや弱気)。▼海外の引き合いは弱いものと思

われる。国内メーカー側は年越しのための年末集荷意識が例年通り高いため、必要以上の集荷傾向となり、横ばいにて相場形成されるものとする(横ばい)。



Innovation for further growth  
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

<http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19  
TEL(06)6393-8401(代) FAX(06)6399-0313

ISO14001認証取得

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1  
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120  
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602

ISO14001認証取得

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

### 【全国有力100社アンケート調査概要】

■回答方法:12月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答

■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社)

■調査期間:11月26日～12月3日 ■回答率:89.0%(東日本92.5%、中部・東海100.0%、西日本80.0%)